

早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構 のご紹介

オープンイノベーション戦略研究機構
“先端ICT技術の社会応用” ファクトリー・クリエイティブ・マネージャー
冲中 秀夫

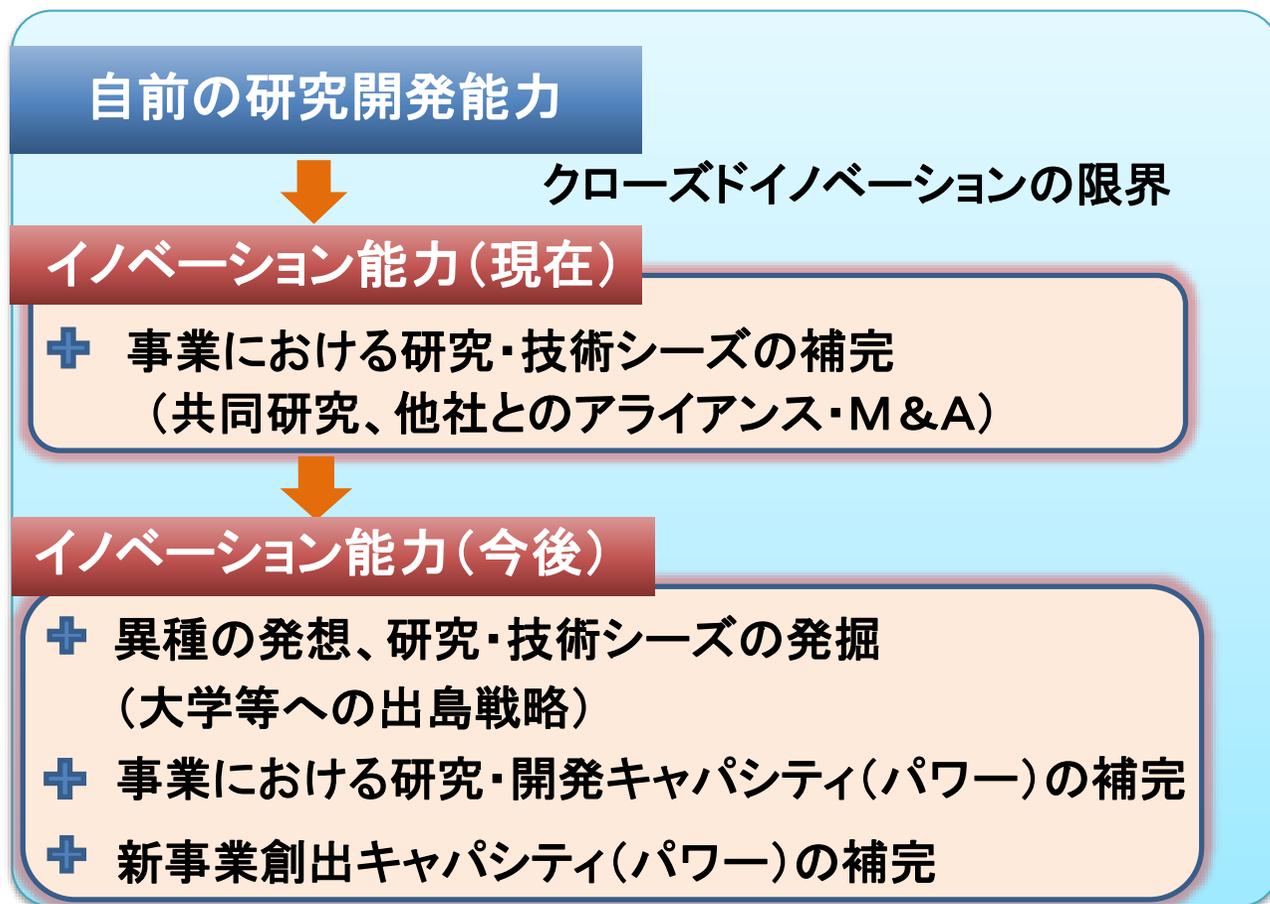
2019年6月26日



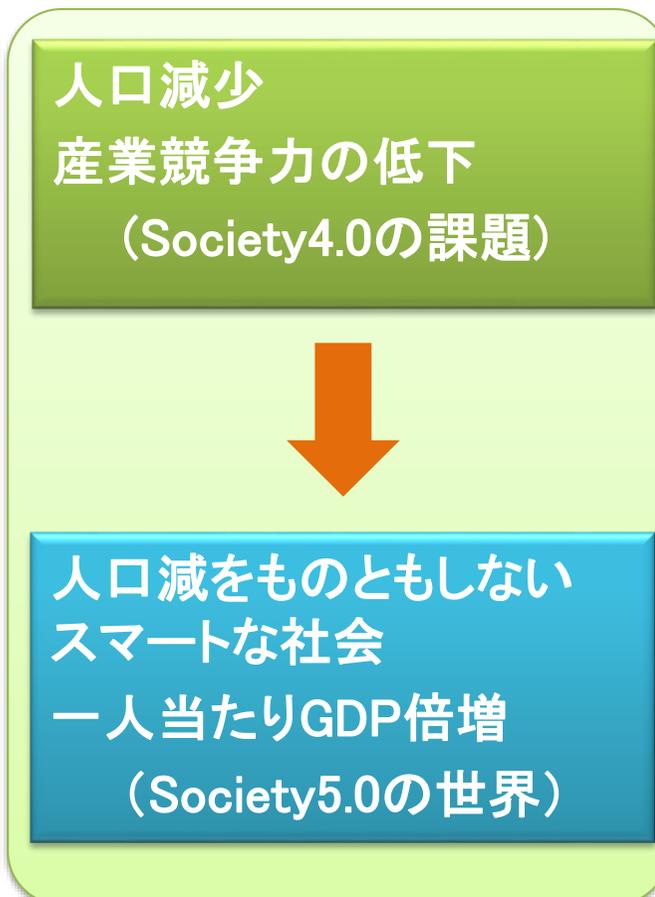
WASEDA University

産学連携 オープンイノベーションのモチベーション

産業界のCapacity of Innovationの変遷



取り巻く環境



産学連携 オープンイノベーションの拡大を通じた社会発展

Waseda Vision 150

創立150周年(2032年)に、アジアのリーディングユニバーシティとして確固たる地位を築く

- Vision2: 世界の平和と人類の幸福の実現に貢献する研究
- Vision4: アジアの大学のモデルとなる進化する大学



早稲田大学の経営・研究戦略：「研究の事業化」

世界と競える研究集団の形成
社会と結び付いた実学の推進
“事業拡大に貢献する”成果の創出



大学の第3の役割「**社会価値創造**」を謳い、従来の産学連携のフェーズを引き上げ、**「組織対組織」での共同研究を通じて、企業の事業課題を解決することで、世界に貢献する**

共同研究拡充に向けた新たな施設投資

- ◆ 全学の経営戦略に位置付けられた今回の事業構想は、法人として**覚悟を持って進めている**
➡ **新たな大型産学連携拠点となる新研究棟** (120号館、新宿区早稲田鶴巻町513、ショールーム併設)の建設を、**全額自主財源**により、前もって進めている



- ◆産官学コンソーシアム型研究を展開
- ◆オープン・クローズ研究開発専用施設
- ◆総工費100億円 地上6階 地下2階
総床面積約18,000m² (うち研究スペースは6,570m²)

競争領域における企業様との共同研究の拡大

【施策】

- 企業様から信頼を得られる研究マネジメント体制の構築
- 共同研究の受託コストの見える化と、期待に応える成果の創出
- 産学連携ワンストップ窓口としてのポジショニング
- 産学連携マッチング
- 教員・研究員・研究室へのインセンティブ拡充

OI機構の組織図

機構長 笠原博徳

早稲田大学副総長（研究推進・情報化推進担当）

2019年6月1日現在

統括CM
(副機構長) 中谷義昭

CM=クリエイティブ・マネージャー
FCM=ファクトリー・クリエイティブ・マネージャー

運営委員会

知財マネージャー

- バイオ分野
- 弁理士、機械、エネルギー分野
- ICT分野

法務マネージャー
(弁護士)

- 契約担当
- 利益相反マネジメント担当

事務局

事務長 | 山本健一郎

(業務委託)

総務・人事担当 | 財務・契約担当
事業推進担当 | 営業推進担当

リサーチイノベーションセンター
・URAによるファクトリー支援

- 工学担当URA
(ナノテク、表面工学・表面計測)
- IoT担当URA
(人工知能、知識表現)
- 工学担当URA
(電気・電子工学、原子力・放射線工学)
- 工学担当URA
(バイオ、機械工学)
- 生命科学担当URA
(医科学、脳神経科学)

クリエイティブ・パートナーズ

・人社系の教員によるファクトリー、FCM支援

- 専門：マーケティング
- 専門：企業経営・組織マネジメント
- 専門：科学技術アントレプレナーシップ

リサーチ・ファクトリー（研究プロジェクト）

数理エネルギー変換工学

PI教員

FCM

持続可能なエネルギー
・環境技術創出

PI教員

FCM

自動車用
パワートレイン技術

PI教員

FCM

先端ICT技術の社会応用

PI教員

FCM

革新的生物資源利用

PI教員

FCM

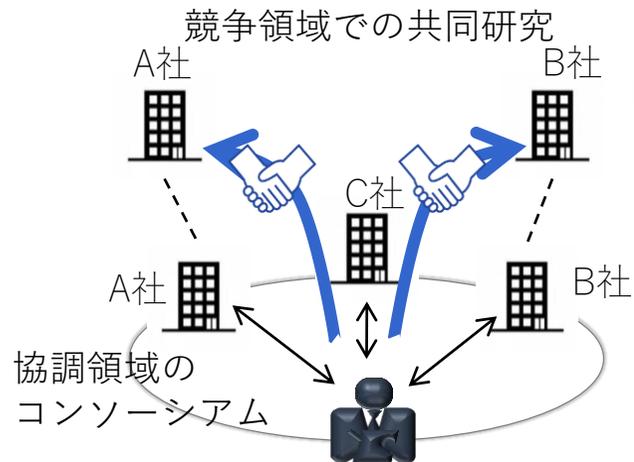
2018年度にスタートした4つのファクトリー



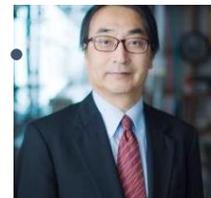
【熱エネルギー変換技術】



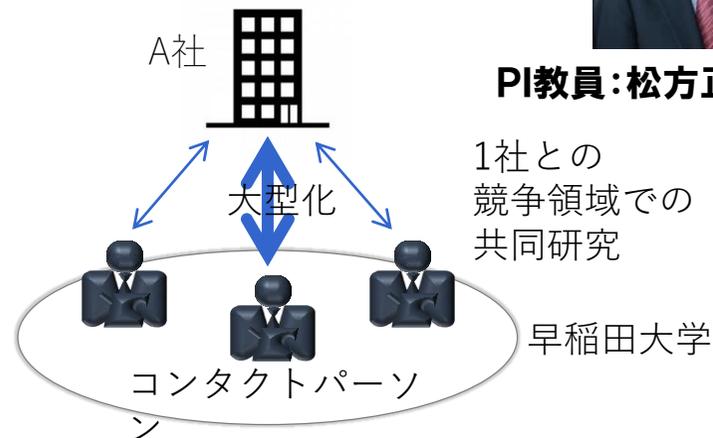
PI教員: 齋藤潔教授



【持続可能なエネルギー・環境技術創出】



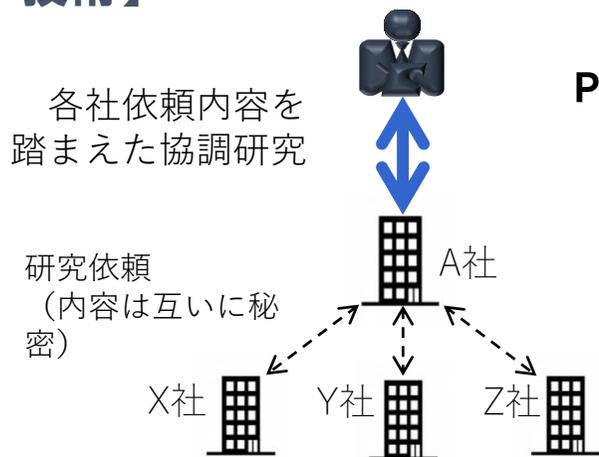
PI教員: 松方正彦教授



【自動車用パワートレイン技術】



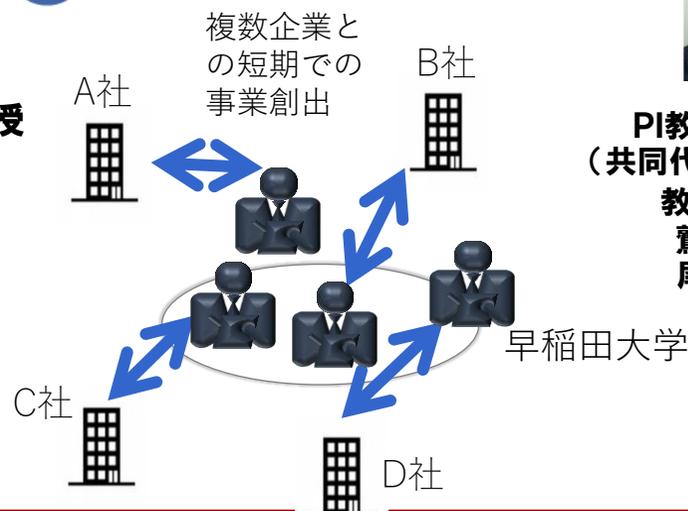
PI教員: 草鹿仁教授



【先端ICT技術の社会応用】



PI教員: 戸川望教授
(共同代表: 山名 早人教授、
鷲崎 弘宜教授、
尾形 哲也教授)



産学連携共同研究創設に向けた流れ

事前
段階

オリエンテーション

- 早大の取組を紹介いたします。
- 貴社事業について、ヒアリングさせていただきます。

NDA/RFP

- **秘密保持契約締結**のうえ、検討すべき貴社の事業課題や創発テーマを共有させていただきます。

マッチング

- 貴社の**事業課題解決**や**新事業創出**に資する**研究テーマ、体制**を提案させていただきます。

プレ・ラボラトリー：
事業課題解決や新規事業創出に向けた研究シーズ探索、研究テーマレビュー、ワークショップ等を実施し、FS, 本格連携へと導く。理工系、人
社系研究者が参画

必要に応じて、**プレ・ラボラトリー**契約を締結

実施
段階

FS

- 本格連携研究に向けて、予備的な検討を実施します。
- この成果を受けて、本格連携研究の実施可否を判断いただきます。

本格連携研究

- 互いに、ヒト、モノ、カネ、チエを持ち寄り、数千万円/複数年の大型プロジェクトを形成します。

事業化

- 得られた成果を活用して、既存事業の課題解決を図ったり、新規事業創造による利益獲得を共に目指します。

**早稲田大学の研究成果（シーズ）と研究リソースを
活用し、産学連携研究プロジェクトを通じて、お持ちの
アイデアの社会実装を目指しませんか？**

本学を社会貢献のために使って頂きたいと存じます。

当機構へのお問い合わせは下記までご連絡ください
oi-contact@list.waseda.jp